

目を引くチラシづくりって？

町民が効果的な作り方を学ぶ

3月9日、16日の2週にかけて、住民活動センターで「効果的なチラシの作り方」を学ぶ研修がありました。協働のまちづくりの一環で、地域づくりなどにかかわる5団体11人が参加しました。

講師の平木久恵さんが、参加者が持参した気になるチラシを参考に「載せるべき事項」「目を引くためのデザインのポイント」に加え、「みんなで考える企画力」「直接声をかけながら渡すロコミの大切さ」などの地域づくりならではのポイントをアドバイス。2班に分かれて「清掃活動」をテーマに試行錯誤しながらチラシを仕上げました。

参加者の一人は「ただ目に付くだけではだめなんですね」と今後のチラシ作りに活かす意欲を見せていました。



▲みんなでアイデアを出しながらの作業

◀完成したチラシの一部



寄せられた善意

◎交通安全意識啓発のため、今年も4小学校へ、480本の横断旗を寄附していただきました。毎日の登下校で役立っています。

☆広島市安芸区中野東4丁目医療法人 せのがわ理事長 津久江一郎



善行表彰

公共事業用地として活用するため、海田町に土地等が寄贈されました。

2月22日に、役場町長室において善行表彰を行いました。

●寄贈者
千葉県船橋市
砂盛 敬さん

●寄贈物件の所在地
海田町国信二丁目



山岡町長から感謝状を受け取る砂盛さん（右端）

自由自在に吹きたいな

東公民館で口笛教室

口笛というと、一見簡単そうだけど、いざ吹くと「ヒューヒュー」と風の音が…。もっと自由に吹けたらな…。こんな経験はありませんか？

2月25日、海田東公民館で「口笛教室」が開催され20人が参加しました。講師のひろしま口笛クラブのメンバーから「吸う・吐く」ときの音の違いや腹筋の使い方などのコツを指導され、参加者は「かえるの歌」などの簡単な曲や、口笛で会話する練習などに挑戦しました。参加した小学生は「初めて本格的に吹いて、楽しかった」とにっこり。

また、同クラブによる演奏もあり、透き通った音色に参加者たちは聴き入っていました。



(上) 腕を前後に動かしながら音を出す練習。口笛は顔の筋肉を鍛えるなど美容効果もあるとのこと。
(下) ひろしま口笛クラブは「トルコ行進曲」や「ジブリメドレー」などを披露

日頃の成果を堂々披露

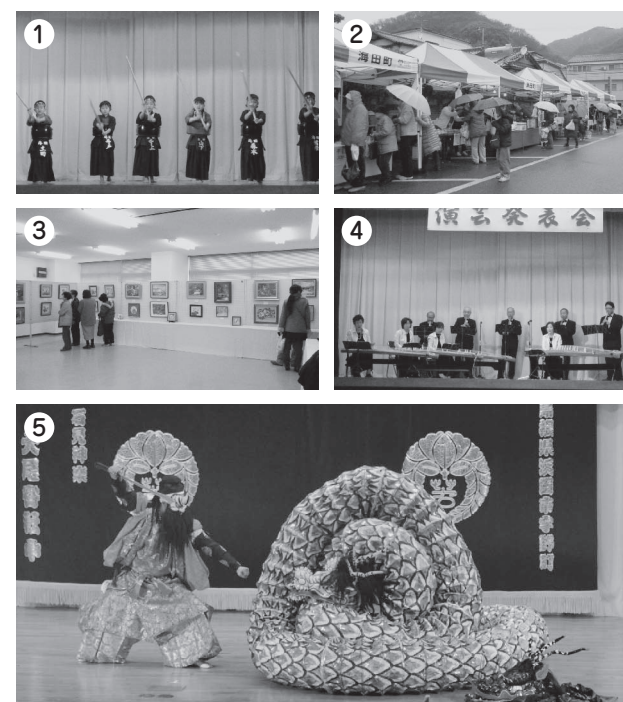
海田公民館まつり

3月3日、4日に海田公民館まつりが開催されました。

3日の前日祭は、講座生による絵画、陶芸などの作品展示のほか、吹奏楽演奏や児童演武の発表、カラオケ発表で盛り上がりしました。

4日は講座生の芸能発表があり、ステージ上でダンスや歌など日頃の活動の成果を披露。また、屋外では町内外の特産品などの模擬店やバザーが設けられ、あいにくの雨にもかかわらず賑わっていました。クライマックスの石見神楽では、「恵比須」や「大蛇」などが演じられ、間近で体験する迫力の舞に、ホールいっぱいの観客からは大きな拍手が起こっていました。

◀①元気いっぱい！児童演武（剣道）、②模擬店やバザー、③ちぎり絵展示、④尺八演奏、⑤演目「大蛇」。スサノオノミコトが八岐の大蛇（やまたのおろち）を見事退治！



テレビ番組「にっぽん歴史街道」(BS-TBS)のロケが海田町で行われました

歌舞伎役者の6代目中村勘九郎さんがナビゲーターを務める、全国の街道の歴史を紐解く紀行番組「にっぽん歴史街道」に、このたび山陽道（三原－広島・宮島）が取り上げられることになり、海田町の西国街道でも撮影が行われました。

2月26日に町内であった撮影では（残念ながら勘九郎さんはお越しいただけませんでした）、千葉家や海田の郷土料理「さつま汁」などが取り上げられました。

見覚えのある風景が見られるかもしれませんね。

放送日 4月5日(木) 21時～22時

放送局 BS-TBS（衛星放送）



思い出を語り合いながら「さつま汁」をいただく様子

「平成24年度けんみん文化祭ひろしま」への出演が決まりました

2月5日に呉市で開催された「けんみん文化祭呉・安芸地区フェスティバル」において、扇柳会（海田公民館舞踊講座）が、審査の結果、「平成24年度けんみん文化祭ひろしま（新舞踊分野）」に出演することが決まりました。

呉市、江田島市と安芸郡4町から42団体600余名が参加したフェスティバルは、呉・安芸地区の文化団体が一堂に会する文化交流の祭典だけでなく、次年度のけんみん文化祭ひろしま（県大会）に出演するための地区予選会も兼ねています。厳しい審査をくぐり抜け、表現、技術、芸術性など総合的評価を受け推薦されたものです。おめでとうございます。



県大会（新舞踊分野）は、11月18日(日)尾道市民センターむかいしまで開催されます。